

製品名: GDF-9 ウサギポリクローナル抗体**カタログ番号: APRab11389**

研究使用のみ

概要

説明	ウサギポリクローナル抗体
宿主	うさぎ
応用	WB,IHC,ICC/IF,ELISA
反応性	ヒト、ラット、マウス
標識	非共役
修飾	未修正
アイソタイプ	IgG
クローン性	ポリクローナル
形態	液体
濃度	1mg/ml
保存	アリコートし、-20°Cで保存してください（12ヶ月有効）。凍結/融解サイクルを避けてください。
輸送	氷袋
バッファー	50% グリセロール、0.5% 保護タンパク質、0.02% 新タイプ防腐剤 N を含む PBS 液。
精製	アフィニティー精製

応用

希釈倍率	WB 1:500-1:2000,IHC 1:100-1:300,ICC/IF 1:50-1:200,ELISA 1:5000-1:20000
分子量	57kDa

抗原情報

遺伝子名	GDF9
別名	GDF9; Growth/differentiation factor 9; GDF-9
遺伝子 ID	2661.0
SwissProt ID	O60383
免疫原	抗血清はヒト GDF-9 由来の合成ペプチドに対して作製された。アミノ酸範囲: 273-322

背景

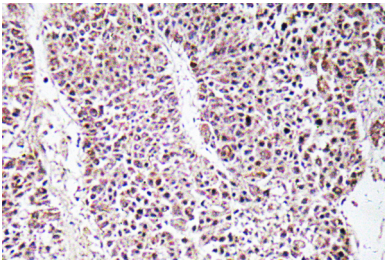
この遺伝子は、TGF- β (形質転換成長因子 β) スーパーファミリータンパク質の分泌リガンドをコードしています。このファミリーのリガンドは様々な TGF- β 受容体に結合し、遺伝子発現を制御する SMAD ファミリー転写因子のリクルートメントと活性化をもたらす

ます。コードされているプレプロタンパク質はタンパク質分解によって処理され、ジスルフィド結合したホモ二量体の各サブユニットを生成します。このタンパク質は卵巣機能を制御します。この遺伝子の発現低下は多嚢胞性卵巣症候群に関連する可能性があり、この遺伝子の変異は二卵性双生児の母親でより一般的である可能性があります。 [RefSeq 提供、2016年7月],機能: 卵胞形成に必須。類似性: TGF- β ファミリーに属する。サブユニット: ホモ二量体またはヘテロ二量体 (可能性あり)。しかし、このファミリーの他のメンバーとは異なり、ジスルフィド結合することはできません。、

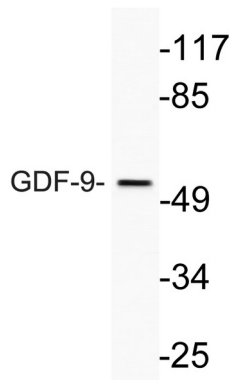
研究分野

-

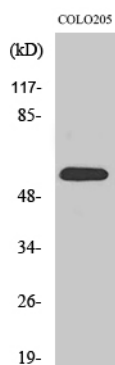
画像データ



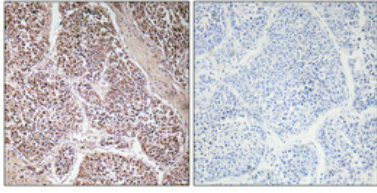
パラフィン包埋ヒト肝癌組織における GDF-9 抗体の免疫組織化学分析。



GDF-9 抗体を使用した COLO205 細胞の溶解物のウェスタン ブロット分析。



GDF-9 ポリクローナル抗体を用いた様々な細胞のウェスタンブロット解析



パラフィン包埋ヒト肺癌の免疫組織化学染色。抗体は 1:100 (4°C、一晚) に希釈した。抗原賦活化には、高圧高温トリス EDTA (pH8.0) を使用した。抗体から得られたネガティブコントロール (右) は、免疫原ペプチドで前処理した。